

## 緑丘小教員ら 救命処置学ぶ

別府市の鶴見病院

別府市の鶴見病院は近くの緑丘小学校の教員や保護者を対象に、同病院で救命救急処置の講習会を開い



万一の事態に備えよう

た。

30人が参加。鶴見病院の医師や看護師が人形を使って心臓をマッサージする胸骨圧迫の方法や自動体外式除細動器（AED）の使い方を実演した。参加者も教わりながら、実際に体験した。脳神経外科の加賀明彦部長は「心停止の人がいたら救急車の到着を待たず、すぐに救命処置をしてほしい」と呼び掛けた。

病院の地域貢献活動の一環。小林伸寿校長は「水泳の授業が始まり、秋には運動会もある。万一の事態に備えたい」と話した。